

# ひとづくり 第28号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 令和7年10月発行

## LEADING EDGE 四国に2チーム採択されました



令和7年8月8日（金）、愛媛県松山市において「LEADING EDGE 四国 2025」の公開審査会が開催されました。審査では、書類審査を通過した13組がプレゼンテーションを実施し、その結果本校の学生2名が選出されました。支援対象者は、約5か月間にわたり連携企業やメンターとのメンタリングを通じて、地域における新事業の創出を目指していきます。

「LEADING EDGE 四国 2025」は、IT・デジタル技術を活用した独創的なアイデアを持つ地域の若者と、愛媛県内企業が新たな形で結びつき、愛媛発のイノベーション創出を目指すオープンイノベーションプログラムです。情報工学科2年の奥河董馬学生は、360度カメラとAI技術を駆使し、既存システムより少ない機材で広範囲をカバーでき、さらには低予算で実現可能な夜間環境向け自動監視システムを提案しました。情報工学科5年の瀬川悟学生は、建築現場で使用されるヘルメットにネットワークシステムを組み込み、人の所在確認や連絡手段に関する不安を解消し、安全管理を行える作業見守りシステムを提案しました。

国内合宿やシンガポールでの国外合宿を経て、学生たちのイノベーション創出に向けたモチベーションがさらに高まることが期待されます。

### 【採択テーマ】

情報工学科2年 奥河 董馬：夜間環境に特化した360度視覚支援型移動ロボットの開発

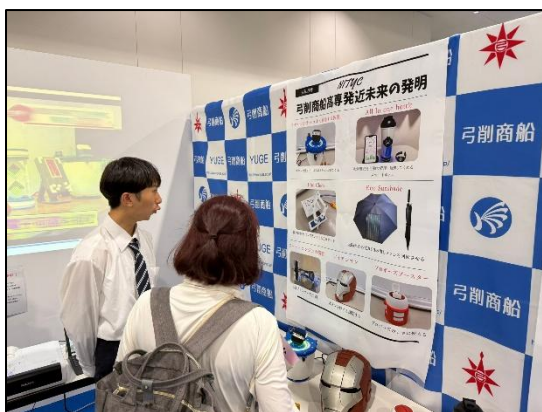
情報工学科5年 瀬川 悟：作業見守りシステム「たすけるけん」～現場のもしもに備える声と仕組み～

## 第 36 回高専プロコンで弓削商船高専チームが敢闘賞受賞・準決勝進出



令和 7 年 10 月 11 日（土）～12 日（日）に島根県松江市で開催された第 36 回全国高等専門学校プログラミングコンテスト（高専プロコン）本選 3 部門に本校が出場しました。課題部門はセキュアなペーパーレス個人情報管理システム「KiWi — Keep Info With Integrity —」、自由部門はレシピ×プログラミング環境「れしぷろえんじん！ — レシピをプログラミングするエンジン —」でともに敢闘賞を受賞しました。競技部門は縁結びがテーマの高難度パズルを高速かつ効率的にシステムで解くもので、本校は一回戦に勝利し準決勝まで進みました。全国からの応募総数は過去最多となった今大会では、最新の AI を本格活用した創造的な作品が多数発表され、本校チームもその中で高い評価を受けました。

## 大阪万博 EXPO 共鳴フェスー万博から描く未来社会の技術、デザイナーに出展



令和 7 年 6 月 18 日（水）～19 日（木）に大阪・関西万博において「EXPO 共鳴フェスー万博から描く未来社会の技術、デザイナー」が開催され、本校もブース出展を行いました。

ブースでは本校情報工学科 3 年生平松夏々翔学生の発明品のデモンストレーションや VR ゴグルを使った操船体験、3D プリンタの実演などを実施しました。全国津々浦々からお客様が来場されており、「興味深い取り組みで今後の非常に楽しみ」「面白い物がいっぱい思い出がたくさんできた」などお声をかけ

いただき、学生も非常に刺激を受けた様子でした。

期間中、EXPO 共鳴フェス全体では 14,752 名の方が参加され、本校のブースにも多くの人に足を運んでいただき、盛況のうちに終えることができました。

## 本田技研工業株式会社「次世代エンジニア育成支援講座」を開催



令和 7 年 7 月 22 日（火）、本田技研工業株式会社による「次世代エンジニア育成支援講座」が開催され、本校商船学科 3 年生、電子機械工学科 4 年生、情報工学科 4 年生を対象に開催され、学生 107 名と教員 6 名が受講しました。本講座は、本田技研工業株式会社の社会貢献活動プログラムとして、2021 年より全国の高専を対象に実施されているものであり、本校では 2024 年度に続き、今回が 2 回目の開催となりました。

当日は、総務部社会貢献推進室の青木様、倉橋様、芦原様の 3 名に来校いただきました。講義は、「製品開発の仕事とマインド」（青木様）、「生産技術 エンジニアの仕事と伝えたい事」（倉橋様）、「ホンダで働く高専卒業生から現役生へのメッセージ紹介」の 3 テーマで行われ、製品開発や生産技術開発の現場で働くエンジニアの雰囲気を感じられる構成でした。

## アクセンチュア株式会社・CompTIA さんをお招きしてセキュリティ講座を実施



令和 7 年 5 月 28 日 (水)、アクセンチュア株式会社と CompTIA による産学連携プログラムの一環として、情報工学科 5 年生を対象としたセキュリティ講座を実施しました。

本講座では、ブラウザ上のバーチャル環境でセキュリティの実践的な学習ができる「CompTIA Labs」を活用した講義を行っていただきました。学生たちは、様々なネットワーク上から見たサーバの状態などを問題形式で確認するなどの演習を通じて、セキュリティ設定の重要性について、より深く理解することができました。

## サニー留学：カリフォルニアへ 2 週間の短期留学を経験して

情報工学科 3 年 平松 夏々翔



2025 年 8 月、アメリカのカリフォルニアへ 2 週間の短期留学に行きました。この留学は「サニー留学」というプロジェクトで、60 人のオーディションの中から選んでいただき、参加することができました。

滞在中はサンフランシスコでホームステイをし、午前中は語学学校に通いました。午後は自由活動の時間で、いろいろな体験をしました。特に印象に残っているのは Meta 社を訪問したことです。

エンジニアの方に案内していただき、分解されて展示されている Meta quest やソフトウェア開発ルーム、デジタルスクリーンやホワイトボードが壁一面に設置されたクリエイティブルームなど最先端の環境を見学できました。また、施設の中には無料のレストランやカフェ、ゲームセンターがあり、まるで大きなデパートのようでした。社員のモチベーションを高める工夫が随所であり、世界を代表する企業のスケールを実感しました。さらに、カリフォルニア大学バークレー校を訪問し、実際に現地の学生や研究者に英語で話しかけ、ブラジルのエンジニアや物理を専攻している学生、ドイツから留学している学生など、多くの人と交流することができ、自分の価値観がさらに広がったと感じています。この留学で得た学びは英語力だけではなく、異文化理解や行動力にもつながりました。次はもっと長期の留学に挑戦し、さらに成長したいです。

## 情報工学科 3 年生の航海実習と会社見学を実施



令和 7 年 5 月 14 日 (水) ~15 日 (木) に情報工学科 3 年生の航海実習を実施しました。

学生たちは練習船「弓削丸」に乗船し、広島県呉市の港へ向かい、株式会社ディスコ桑畑工場にて半導体製造の最先端の現場を見学し、自衛隊呉地方総監部及び練習艦「しまかぜ」の見学を行いました。

また、移動中の船内では、弓削丸のブリッジやエンジンルームにて船舶に関する授業を受け、実際に船内での食事や宿

泊も行うことで、船舶関連の知識を深めることができました。

## DCON 特別講義を実施



令和 7 年 9 月 25 日(木)、電子機械工学科・情報工学科の 3 年生及び希望者を対象とした「第 7 回全国高等専門学校ディープラーニングコンテスト 2026 (DCON2026)」に関する特別講義を開催しました。

DCON は、「ものづくりの技術」と「ディープラーニング (AI)」を活用した作品を制作し、その作品によって生み出される「事業性」を企業評価額で競うコンテストです。このコンテストでは、現役の投資家である審査員に、その事業性を評価されるため、起業を目指す高専生にとって大きなチャンスとなる場になっています。なお、本特別講義では、DCON 実行委員会事務局長 岡田様、(株) フォトシンス代表取締役社長 河瀬様、NEC ソリューションイノベータ (株) HR 統括部タレントアクイジショングループ 鶴田様にそれぞれ講演いただき、DCON 概要や AI 事情、起業経験、大手企業の取り組みなどについて学びました。

## 情報工学科生が高専体育大会で大活躍

今年度は各種高等専門学校体育大会にて、情報工学科生が以下のような好成績を残すことができました。

### 第 62 回四国地区高等専門学校体育大会

- 【陸上競技】 女子走幅跳 3 位, 女子 100m3 位 : 藤木 美羽(1 年)  
【ソフトテニス】 女子ダブルス : 奥井 陽菜(2 年)  
【柔道部】 女子 63kg 級優勝 : 井上 結子(2 年)  
【剣道部】 女子団体準優勝, 女子個人 3 位 : 藤原 歩華(4 年)  
男子個人準優勝 : 金子 心(2 年)  
【野球部】 準優勝 : 金久 桃子(4 年)

### 第 60 回全国高等専門学校体育大会

- 【柔道部】 女子 63kg 級準優勝 : 井上 結子(2 年)



【剣道部】 女子団体準優勝・個人 3 位



【野球部】 準優勝



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<https://www.yuge.ac.jp/> 0897-77-4620

題字：馬越 唯（平成 23 年度情報工学科卒業生）

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。